

沖縄県
シニアサッカー連盟会報

第6号
2010.5

印刷：光文堂印刷株式会社
電話：098-889-1131

蹴球

きつとうばせー

発行責任者

連盟会長
村田 肇
連盟副会長
真栄城 勉
伊禮 徳栄
上地 義昭
宮城 正男

責任者連絡先：〒905-0404 日本国沖縄県今帰仁村字運天350番地1 TEL 0980-56-5451(村田肇) FAX 0980-56-1150

元サッカー日本代表監督の森 孝慈氏が 沖縄県シニアサッカー連盟特別顧問就任

元サッカー日本代表監督の森 孝慈氏が沖縄県シニアサッカー連盟の特別顧問に就任いたしました。

森氏は平成20年1月20日、糸満市で開催された「ドリーム・サッカーマッチ」でサッカーの元日本代表選手22名で組まれたドリームチームの監督として来沖しました。

当日会場では、ドリームチームとサイン入りグッズが当たる抽選会などが行われました。

また、ドリームチームと糸満市選抜サッカーチームの親善試合が行われ、糸満選抜がみごと2対0で勝利をおさめ、なごやかな雰囲気の中大いに盛りあげられました。



ドリームチームの森 孝慈監督にミス沖縄スカイプルーの山口絢子さんから花束の贈呈



沖縄県シニアサッカー連盟のシンボルマーク



元日本代表の望月選手がペナルティエリア内にドリブル



糸満チーム選手をマークする金田選手



PK戦でボールの蹴り方を指導する北澤選手



CONTENTS vol.6

特集1

日本代表がやって来た！

特集2

シニアサッカー連盟寄贈あれこれ

特集3

日韓交流記



トピックス

- ・うるま市フットサルフェスタ 名護市民杯サッカー
- ・熱中症対策について
- ・サッカー場建設について
- ・シニアリーグ0-50リーグ結果について
- ・村田会長表彰式及び祝賀会

特集①

日本代表OBがやって来た!

宝くじスポーツフェア“ドリーム・サッカー”

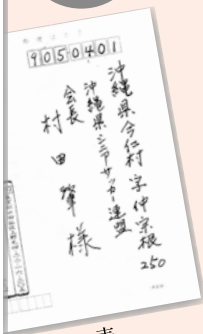


ドリームサッカーチームの森 孝慈氏、金田 喜稔氏とサッカー界のさらなる発展について真剣に語り合った。

ドリームチームとの交流試合が終わった夜、沖縄県内在住の早稲田大学OBの方々がお食事をセッティングしていただきました。スポーツ居酒屋「輪輸」(オーナー、工業クラブ金城進)で、森孝慈氏(メキシコオリンピック出場・銅メダル、元サッカー日本代表監督)金田喜稔氏(元全日本サッカーメンバー、現テレビ解説者)と食事をしながらサッカーのよもやま話で盛り上がりました。

席上、沖縄県シニアサッカー連盟の向上発展のために森孝慈氏に特別顧問就任をお願い申し上げたところよくご承いただきました。

森 孝慈氏
から
お年賀



表

裏

拝啓
一月にお会いして以来、未だお節賀の挨拶ができておりませんが、この度は、ご丁寧にも、プレゼントをご用意いただき誠に有難うございます。お節賀の挨拶ができておりませんが、この度は、ご丁寧にも、プレゼントをご用意いただき誠に有難うございます。お節賀の挨拶ができておりませんが、この度は、ご丁寧にも、プレゼントをご用意いただき誠に有難うございます。

もり たか じ 森孝慈氏



代表との調整役期待

Jリーグ専務理事の犬飼基昭氏(67)が日本協会の次期副会長への就任が濃厚となったことで、同ポストに元日本代表監督の森孝慈氏(66)の就任が最有力となった。関係者によれば、Jリーグ経営諮問委員の小長谷喜久男氏も候補に挙がったが、日本代表、Jクラブでの監督、GMの実績が決め手となった。森氏は現役時代、早大から三菱重工へ進み、日本代表でも活躍。68年メキシコ五輪では銅メダル獲得に貢献した。引退後の88年には川淵監督(現協会会長)の後を受け、日本代表監督に就任。86年W杯メキシコ大会予選では、日本を本大会出場に後一歩まで導いた。指導、運営の手腕だけでなく、温厚な人柄でも知られている。

北京五輪を前に神戸FW大久保のオーバーエッジ枠収集を巡って、クラブと協会の間で混乱したが、日本代表、クラブ運営両サイドの経験が豊富な森氏には、双方の調節役の期待も大きい。屈強の理論派で、代表監督時代に「日本の切り札」と呼ばれた森氏が、専務理事としてどんな手腕を発揮するか注目される。

◇森 孝慈氏(もり・たかじ) 1943年(昭和18年)11月24日、広島県生まれの66歳。早稲田大学から三菱重工に進み、日本リーグ通算146戦28得点。68年メキシコ五輪など日本代表でも国際Aマッチ55戦2得点。81〜86年に日本代表監督。92〜93年に浦和の監督、95〜97年は横浜のGM、その後、福岡の監督、フロントを歴任後、02年から浦和のGMに就任、大型補強で04年第2ステージ優勝に導いた。



特集②

シニアサッカー連盟
得点板寄贈
赤間サッカー場



沖縄県シニアサッカー連盟は、沖縄県内のサッカー環境の整備について地域貢献を図っています。今回は、県サッカー協会（伊江朝睦会長）からの依頼により恩納村（志喜屋文康村長）の赤間サッカー場に得点板を寄贈いたしました。2009年6月6日（土）インターハイ県予選決勝（那覇西高校1-0西原高校）の前に贈呈式を行いました。得点板作成者は「きた看板」社長でゲンジクラブの金城一弘さんです。このように、沖縄県シニアサッカー連盟のネットワークがいろいろな場面で活かされています。

2009年5月 恩納村赤間運動場得点表示板贈呈式



「与根サッカー場芝生開き」

豊見城市の与根サッカー場は見違えるような芝生のサッカー場に生まれ変わりました。この機会に沖縄県シニアサッカー連盟より大型テントを寄贈いたしました。なお、与根サッカー場はNPO法人ヴィクサーレ沖縄（加藤久京都サンガFC監督）が管理・運営しています。

2009年10月 豊見城市与根サッカー場

シニアサッカー連盟
大型テント寄贈
与根サッカー場



日韓交流 일한 교류

城北区みごと優勝!!



2009
交流記

アニョンハセヨ (안녕하세요) 2009



2005年12月2日韓国ソウル市城北区サッカー連合会と沖縄県シニアサッカー連盟の全選傑会長と村田 肇会長

国際交流委員会委員長新里博昭

今年、沖縄シニア連盟の韓国訪問です。交流希望者は事務局まで連絡下さい。

16日(月)は、沖縄県知事を表敬訪問、那覇市場、南部戦跡から、夕食は宜野湾市の予定でしたが予定変更があり、南から北まで移動し、昼食もバスの中で取りながら観光する事になりました。17日(火)全員、無事に韓国に帰国しました。

今回はホテルも、海が近く、リゾートを満喫したと思います。

韓国ソウル市城北区サッカー連合会の仲間達20名が交流のため、3月14日(土)から17日(火)の3泊4日の日程で来沖しました。今回の来沖メンバーの中に、韓国のテレビ局のディレクターも同行して、交流の様子を取材、撮影して韓国で放映しました。今回、沖縄観光コンベンションビューロー様から那覇空港での、歓迎の韓国語の横断幕とミス沖縄からの花束進呈、サッカー大会の優勝トロフィー(琉球ガラス)のご寄贈を頂きました。有難う御座いました。

城北区メンバーの宿泊ホテルは、恩納村のリザンシーパークホテル。初日の夜は沖縄シニアサッカー連盟主催の歓迎、ウエルカムパーティを開催し、沖縄県在住の韓国の方々も参加され、和気藹々と交流しました。翌日の15日(日)は、沖縄県招待シニアサッカー交流大会、沖縄選抜チームや、八重山選抜チームと対戦し、優勝トロフィーを持つていってくれました。



ミス沖縄はごもから花束贈呈のあと歓迎式を行いました。(那覇国際空港ターミナル) 2009年3月14日(土)



安里カツ子沖縄県副知事に大韓民国ソウル特別市徐贊教(ソ・チャンギョ) 城北区庁長から仲井真弘多沖縄県知事あての親書が手渡された(沖縄県庁会議室) 2009年3月16日(月)



ソ・チャンギョ 城北区庁長殿
拝啓
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
今年3月には、城北区蹴球連盟の皆様が、沖縄県シニアサッカー連盟との交流のため、御来県くださいり、心から感謝申し上げます。
平成9年12月に、城北区蹴球連盟と沖縄県シニアサッカー連盟との間で、サッカー文化交流に関する協定が締結されて以来、11回の交流大会が開催できましたことを、心からお祝い申し上げます。
また、サッカーを通じた子供たちのホームステイなどの民間レベルでの交流も、活発に行われていると伺っております。これらの活動が、相互理解と友好交流のさらなる発展につながるものと期待いたします。
沖縄県では、経済、学術、文化

仲井真 弘多 沖縄県知事 殿
拝啓
時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
私は大韓民国ソウル特別市城北区長の徐贊教(ソ・チャンギョ)と申します。
長い歴史を誇る平和の島、沖縄と今年で開庁60周年を迎える城北区の間でサッカーを通じた交流が長く続いていることを大変嬉しく思っております。私の変わりに我々の区庁文化体育課長が貴県を訪問させていただくこととなり、この親書をお送りいたします。
まず、我々の区サッカー連合会を招待してくださった仲井真弘多沖縄県知事をはじめ、村田肇沖縄シニアサッカー連盟会長及び、関係者の皆様に心より深く感謝申し上げます。
12年間の民間レベルのスポーツ交流により、沖縄県と城北区の絆がより一層深まり、異文化を理解

及び平和等様々な分野で、アジア・太平洋地域との交流・協力を推進し、我が国のみならずアジア・太平洋地域の社会・経済及び文化の発展に寄与する地域の形成に向けて、各種施策を展開しております。
貴国と沖縄は、琉球王国時代から、交易を通じた交流が盛んでございました。現在も、毎年1万名以上の観光客が訪れているなど、貴国は沖縄県にとりまして、大変重要なアジアのパートナーとなっております。
末筆になりましたが、貴区のさらなる御発展と、関係者の皆様の御健勝を祈念申し上げます。
カムサハムニダ
平成21年8月6日
沖縄県知事 仲井真 弘多

しあうきつかけとなりました。これからも両地域間の持続的な文化増進の役割を果たしていくことと期待しております。
そして、スポーツ交流を通じた交流増進は民間レベルの協力だけではなく、「住民の生活の質向上」など、両地域間の発展的な協力関係を導くことと願っております。
最後になりますが、今回の沖縄訪問がより一層相互交流の拡大を図られるきっかけになることを期待するとともに貴県のご発展をお祈り申し上げます。仲井真弘多沖縄県知事をはじめ、関係者の皆様のご健勝、ご幸福をお祈りしつつ、書中にてお礼申し上げます。
ニフエーデービル
2009年3月
大韓民国 ソウル特別市
城北区庁長 ソ・チャンギョ
敬具



日韓交流 일한 교류

(沖縄県)



2009

アラカルト



交流試合は城北区チームの優勝で幕をとじました。(恩納村赤間サッカー場)



アニョンハセヨ(안녕하세요)

2008年韓国でのスナップ写真パネルを全選傑韓国ソウル市城北区サッカー連合会会長からいただきました。



絶対に優勝するぞー!! 城北区サッカーチームのメンバー

(コンベンションビューロー寄贈の横断幕を背景に)



島尻安伊子参議院議員を囲んで糸満市サッカー協会 金城武則副会長と韓国出身で糸満市に住む金仁洙(キム インスウ)さん(左列白の上着)と八重山チームメンバー



韓国チームメンバーと交流委員長の新里 博昭、玉城 悟、木下昌則、3名とも何回も韓国を訪問しています。

2010年1月24日、1月31日の両日、第30回名護市長杯争奪サッカー大会が一般9チーム、シニア6チームが参加して、名護市羽地ダムグラウンド他で開催されました。第30回を記念して初めて、第1回名護市長杯シニアサッカー大会が行われました。30年前の大会で優勝した前原クラブが優勝するという因縁めいたことが起きました。歴史がまた、ひとつ始まった気がします。懐かしい顔が、そして新しい顔がこれからも歴史を築いていくことでしょう。

第1回名護市長杯争奪シニアサッカー大会

2010年1月24日(日) 会場：羽地ダム多目的広場

予選リーグ

グループA	名護クラブ	沖縄壮年	前原壮年	得点	勝	分	負	得	失	差	順位
名護クラブ	***	0-1	0-5	0	0	0	2	0	6	-6	3
沖縄壮年	1-0	***	1-1	4	1	1	0	2	1	1	2
前原壮年クラブ	5-0	1-1	***	4	1	1	0	6	1	5	1

準決勝

前原壮年クラブ	不戦勝	普天間FC
---------	-----	-------

グループB	与勝壮年	普天間FC	ゲンジン	得点	勝	分	負	得	失	差	順位
与勝壮年	***	2-2	3-1	4	1	1	0	5	3	2	1
普天間FC	2-2	***	2-1	4	1	1	0	4	3	1	2
ゲンジン・クラブ	1-3	1-2	***	0	0	0	2	2	5	-3	3

決勝

前原壮年クラブ	3	$\frac{1-0}{2-0}$	0	1	与勝壮年
---------	---	-------------------	---	---	------

※勝点と同じ場合は得失点差による



ゲンジン・クラブ



与勝壮年



前原壮年クラブ



沖縄壮年

一般の部

優勝 **小緑クラブ** 初優勝

準優勝

名護スポーツFC

得点王

大城政也 (名護スポーツFC) 4得点

平成22年度全国高等学校総合体育大会「美ら島沖縄総体2010」成功に向けて
うるま市具志川多種目球技場開き

第5回うるま市フットサルフェスタ

参加チーム

前原壮年クラブA	沖縄壮年	与勝壮年A	普天間FC	与勝壮年B
糸満蹴球会	AWWA-WA	前原壮年クラブB	沖縄壮年FC	工業クラブOB
ゲンジンクラブ	豊見城エドソンクラブ	FCカンダバー	石川クラブB	FC小緑

優勝 **豊見城エドソンクラブ** 準優勝 **ゲンジンクラブ**



両チームにも本土派遣費用の一部を助成しました。

城北中サッカー部



糸満高校女子サッカー部



沖縄県シニアサッカー連盟から多くのサッカーチーム、団体に寄付、寄贈を行うことで感謝と評価をいただいていることは会員の大きな誇りです。



2009年沖縄県シニアサッカー連盟リーグ成績表

チーム名	前原	普天間	げんじん	与勝	糸満	石川	名護	工業	沖縄壮年	小祿	カンタバー	シーサー	豊見城	沖縄FC	AWWA	勝点	得失点	得点	順位
前原	★	2-1	1-1	5-0	0-3	2-1	4-0	2-1	3-2	3-1	1-0	7-0	4-0	4-0	4-0	37	+32	42	1
普天間	1-2	★	4-0	3-1	2-0	2-1	5-2	2-0	2-0	5-0	2-0	1-1	1-0	4-0	3-0	37	+30	37	2
げんじん	1-1	0-4	★	4-1	3-3	1-1	0-4	3-0	2-1	1-0	1-0	5-0	1-2	4-0	1-0	27	+10	27	3
与勝	0-5	1-3	1-4	★	1-0	2-1	4-1	1-1	1-0	0-0	2-0	2-1	1-0	0-0	1-0	27	+1	17	4
糸満	3-0	0-2	3-3	0-1	★	0-2	4-0	3-2	0-3	1-0	2-2	3-1	1-0	6-1	5-0	26	+14	31	5
石川	1-2	1-2	1-1	1-2	2-0	★	3-4	5-2	2-1	2-0	1-1	4-3	3-1	6-0	1-1	24	+13	33	6
名護	0-4	2-5	4-0	1-4	0-4	4-3	★	2-3	0-0	3-1	2-1	4-0	2-2	2-0	1-0	23	0	27	7
工業	1-2	0-2	0-3	1-1	2-3	2-5	3-2	★	2-1	3-2	4-0	0-1	2-0	4-1	4-1	22	+4	28	8
沖縄壮年	2-3	0-2	1-2	0-1	3-0	1-2	0-0	1-2	★	1-0	1-2	5-0	1-0	5-0	3-0	19	+10	24	9
小祿	1-3	0-5	0-1	0-0	0-1	0-2	1-3	2-3	0-1	★	2-2	2-1	0-1	4-0	3-0	13	-7	15	10
カンタバー	0-1	0-2	0-1	0-2	2-2	1-1	1-2	0-4	2-1	1-2	★	3-2	0-0	1-1	1-0	13	-9	12	11
シーサー	0-7	1-1	0-5	1-2	1-3	3-4	0-4	1-0	0-5	1-2	2-3	★	3-0	4-0	1-0	13	-18	18	12
豊見城	0-4	0-1	2-1	0-1	0-1	1-3	2-2	0-2	0-1	1-0	0-0	0-3	★	2-0	0-0	12	-11	8	13
沖縄FC	0-4	0-4	0-4	0-0	1-6	0-6	0-2	1-4	0-5	0-4	1-1	0-4	0-2	★	1-0	5	-42	4	14
AWWA	0-4	0-3	0-1	0-1	0-5	1-1	0-1	1-4	0-3	0-3	0-1	0-1	0-0	0-1	★	2	-27	2	15



2009年沖縄県サッカー協会 伊江朝睦杯成績

**優勝
前原壮年**

前原壮年
FC小祿

合計	前半	後半	得点者
1	0	1	後半9分 [9] 多嘉良知英
0	0	0	

	合計	前半	後半	得点者
前原	2	1	1	前半8分 [26] 名嘉山隆 後半23分 [19] 町田宗男
普天間	2	0	2	後半15分 [14] 玉城重則 後半21分 [14] 玉城重則

	1	2	3	4	5	計
PK戦	○	○	○	○	-	4
	○	×	○	×	-	2

工業クラブ
普天間

合計	前半	後半	得点者
2	0	2	後半17分 [10] 与那嶺吉正 後半22分 [22] 高江洲義紀
5	1	4	後半5分 [3] 砂川 恵哲 後半5分 [20] 島袋 定清 後半11分 [22] 新城 勝也 後半19分 [22] 新城 勝也 後半21分 [22] 新城 勝也

「熱中症」対策について

本当は身近な「熱中症」

その病態と応急処置



沖繩県シニアリーグ
医療顧問
井上 治

(AWAのレッドカードで苛められているアラ還) 暑い中でスポーツをしようと熱中症になったり、年寄りや家に居るだけで熱中症で倒れるなど、夏になるとニュースになります。炎天下で激しい競り合いをする、われわれシニア・リーガーにとって重大事です。時間のない人は「短絡コース」から読んで下さい。

「熱中症とは」

医学書を読むと幾つかの病態が書かれており、救急医療に関わる事もある私ですが、理解に難儀します。日本体育協会のホームページに「熱中症を防ごう」知って防ごう熱中症」が載っていますが、熱中症とは、暑い環境で発生する障害の総称で、次のような病型があります(フリー百科事典「ウィキペディア」にも同様な記述あり)。スポーツで主に問題となるのは熱疲労と熱射病です。とあり、4型に分けて医学書と同様に記載されています。熱失神、すなわち皮膚血管の拡張により血圧が低下し、脳血流が減少しておこるもので、めまい、失神などがみられる。顔面蒼白となって、脈は速くて弱くなる。熱疲労、すなわち脱水による病状で、脱力感、倦怠感、めまい、頭痛、吐き気などがみられる。熱いれん、すなわち大量に汗をかいたときに水だけしか補給しなかったため、血液の塩分濃度が低下して、足、腕、腹部の筋肉に痛みをと

もなった痙攣がおこる。熱射病、すなわち体温の上昇によって中枢機能に異常をきたした状態。意識障害(反応が鈍い、言動がおかしい、意識がない)がおこり、死亡率が高いなどと記載されています。この4型の中に太線で表記しためまい、失神など共通する症状が書かれており、重症あるいは軽症の病態を区別して理解することはかなり困難と言わざるを得ません。

「短絡コース」

「熱中症」を理解するには、「ヘルスケア」家庭の医学」の説明が良いと思います。少し分かり易くして説明します。

概説：蒸し暑い環境などで発生する身体の適応障害を「熱中症」と言います。「熱中症」において早期診断と早期治療が最も重要で、重症型の熱中症では死亡率が30%以上になります。病態：人の体温は視床下部(脳幹)にある体温中枢によって一定に保たれています。とくに高温・多湿の環境(真夏の風のない体育館などで大量の汗をかいても蒸発しないので体が冷やされず体内に熱が蓄積する)などで、水分の補給を行わずにスポーツなどの身体活動を続けると脱水、血液の循環障害を生じ、体温が異常に上昇します。重症では、脳神経、肝臓・腎臓、血液凝固機能などが障害され、筋肉の融解が起こり、生命が脅かされます。

熱中症Ⅰ～Ⅲ度分類

Ⅰ度(軽症)：こむら返り(運動負荷がかかる下肢の筋肉が突然、痙攣を起こし、強い痛みを伴う。)立ちくらみ(めまい)で来ることもある。水分の摂取で軽快するが、電解質や糖分を含むスポーツドリンクがよい。持続するときは病院で点滴(輸液)を受ける。

Ⅱ度(中等症)：強い疲労感、めまい、頭痛、吐き気、嘔吐、下痢、体温の上昇(38度まで)。Ⅰ度の症状が加わることもある。かなりの脱水と電解質の喪失があり、直ちに涼しい場所に移して体を冷却しつつ、水分を摂取させる。吐き気などで水分が摂取できない場合は直ちに病院で輸液を受ける。

Ⅲ度(重症)：38度以上の高熱、脳神経症状(フラフラして歩けない、うわ言や奇声、意識消失、痙攣)にⅡ度の症状が加わる。救急的治療が必要で、全身管理による急速な輸液と身体冷却が不可欠で、脳や肝臓・腎臓、血液凝固系への障害を緩和する治療が必要とされる。

Ⅱ度、Ⅲ度では病院での治療が必要であるが、適宜な応急処置としての体の冷却と水分の摂取(本人が摂取できる場合)なども重要である。出来るだけ衣服を取り去り、体の表面に水を吹きかけ(濡れタオルでも可)、団扇などで送風するのが効果的。ソケイ部(大腿基部)や腋下、頸部などの動脈を氷嚢(冷えたドリンク缶でも可)で冷やす。意識障害には酸素吸入を行う。

「応急処置」

頭部外傷・プレー中の転倒など。熱中症の原因で倒れる場合もあり、要注意。脳血管障害：高血圧や糖尿病、心臓疾患などの持病があることが多い。脱水で誘発される心臓発作：同上。脈が弱くなり、不整脈(脈が飛ぶ)が出現する。喫煙で誘発されることもあり、この沖縄県シニアサッカーリーグでも心臓停止例あり(心マッサージと口移し呼吸で事なきを得た)。プレーの前後、ハーフタイムの喫煙を避ける(禁煙がベスト)。

「鑑別疾患」

過呼吸症候群：若い女性などストレスに弱い人。仕事や徹夜で疲れている人。熱中症が誘因となることもある。てんかん：「てんかん」の既往。熱中症で誘発されることもある。薬物中毒：抗うつ剤など熱中症を誘発しやすい薬剤があり、高校生の死亡例あり。スポーツマンはドラッグフリーの体でプレーしたいものである。

「まとめ」

激しい運動では、体内の熱を発散するため大量の汗が体外に放出される。一方、水分や電解質が補充されないと身体が脱水状態となり、汗が出なくなると体内に熱がこもることにより(つつ熱)、熱中症が発生する。したがって炎天下で行われるシニアリーグは常に熱中症のリスクを抱えており、日頃から体調を整えて必要以上の汗をかかないよう体力を高めておく必要がある。熱中症の予防は、運動中に水分をこまめに補給し、日陰で後頸部(体温中枢)を冷やし、試合中に交代するなど体力以上のオーバーワークを避けることである。筋肉の痙攣はいつもの「こむら返り」と思い込まず、「気分が悪い」「弛(たる)んだプレー」などいつもと違うことから熱中症を考えるべきである。軽症の熱中症は、涼しい場所で体を休めながら水分を補給することで多くは軽快するが、良くならない場合や、発熱や意識障害など尋常でない場合は、直ちに病院に連れていくか、救急車を呼ぶべきである。



平成9年8月8日 沖縄県サッカー場建設総決起大会

那覇市奥武山陸上競技場

サッカーファミリーの願いであるサッカースタジアム建設に向けて、沖縄県内のサッカー少年からシニアまでの各世代が2500人小雨の中、奥武山陸上競技場に出向いてくれた。署名も1万人以上確保でき県議会と那覇市議会へ要請行動が行われている。芝生のサッカー環境を充実させ、Jリーグ・Kリーグ、日本代表合宿など誘致できるような施設確保が求められる。県内の指導者層の資質向上によりジュニア世代ではすばらしいクラブ（部活を含む）とプレーヤーが誕生している。私たち、沖縄県のサッカー第一世代のシニアの地域貢献は始まったばかりである。悲願達成まで連携と協力を継続してお願いしたい。



小雨の中、多くの小中学生と
父母が参加してくれました。
子どもたちの夢づくりに
少しでも役立ちたい。



意見発表してくれた皆さんありがとうございました。



第12回沖縄県スポーツ・レクリエーション祭

平成9年10月11日 県民総合運動公園サッカー場

天気にも恵まれ、心地よいスポーツの秋を満喫し、さわやかな汗をかくことができた。勝負の世界より、健康第一をモットーに「サッカーを楽しむ世界」が構築できていることを確信した大会であった。一人のけが人もなく無事に終了したと同時に、今回も昨年度同様、大会運営にうないFCの女子サッカークラブ員や父母が協力していただいたことにも感謝したい。



村田会長より
FCブルーティータ
うないFCに
九州遠征支援金の
贈呈式



Aコート
開幕戦



前原壮年

7対0



シーサークラブ

Bコート
開幕戦



普天間FC

4対0



おきなわFC

嘉数知賢杯



特別顧問
嘉数 知賢

オーバーゴジュウ

2009年度 沖縄県O-50 シニアリーグ開催!

チームの紹介

- 沖縄県選抜 O-60... [監督：村田 肇 主将：照屋 順吉]
- 沖縄県選抜 O-50... [監督：又吉 盛徳 主将：上地 義昭]
- 島尻選抜一 O-50... [監督：大城 昇 主将：金城 武則]
- 那覇市選抜 O-50... [監督：宮城 正男 主将：具志 幸健]
- 中北部選抜 O-50... [監督：新垣 盛和 主将：渡口 彦和]
- うるま市選抜 O-50 [監督：平川 芳明 主将：石川 悟]

50代リーグ島尻選抜が**優勝!!**

成績発表

	県選抜O-60	県選抜O-50	中北部選抜	那覇市選抜	島尻選抜	うるま市選抜	勝点	得点	失点	得失点差	順位
島尻選抜	9/20 3-1 ○	9/6 3-1 ○	11/1 3-2 ○	8/2 6-0 ○	/	7/5 0-0 △	13	15	4	11	1
中北部選抜	8/2 1-0 ○	9/20 4-0 ○	/	7/5 2-1 ○	11/1 2-3 ×	9/6 1-0 ○	12	10	4	6	2
県選抜O-50	7/5 4-0 ○	/	9/20 0-4 ×	11/1 1-0 ○	9/6 1-3 ×	8/2 1-1 △	7	7	8	-1	3
うるま市選抜	11/1 1-0 ○	8/2 1-1 △	9/6 0-1 ×	9/20 2-6 ×	7/5 0-0 △	/	5	4	8	-4	4
那覇市選抜	9/6 1-1 △	11/1 0-1 ×	7/5 1-2 ×	/	8/2 0-6 ×	9/20 6-2 ○	4	8	12	-4	5
県選抜O-60	/	7/5 0-4 ×	8/2 0-1 ×	9/6 1-1 △	9/20 1-3 ×	11/1 0-1 ×	1	2	10	-8	6



糸満蹴球会

金 仁洙 (キム インスウ)

アニョンハセヨ (こんにちは)

わたしは、韓国から来ました金仁洙 (キム インスウ) と申します。現在、糸満蹴球会に所属しています。

わたしが、沖縄県シニアサッカー連盟に加入したのは、5年程前、韓国城北区サッカーチームメンバーが沖縄を訪問したとき、通訳を頼まれたときです。城北区サッカーメンバーの中に小学校の先輩や、小学校、中学校の同窓生もいました。わたしにとって、城北区は第2のふるさとでございます。

こんな縁で沖縄でサッカーを始めました。いまは、自分自身の健康と沖縄県シニアサッカー連盟との交流とサッカーを通じて沖縄地域社会と韓国とのスポーツ交流に微力ですけど協力したい一心で努力しています。

サッカーはへたですが、サッカー場をがんばって走ります。最後に、沖縄県シニアサッカー連盟の村田肇会長を始め、メンバーのみなさんのご健勝を祈念いたします。



沖縄壮年

姜 東植 (カン インシュク)

沖縄オヤジサッカーの皆さん、ハイサイ!!

私が沖縄シニアサッカーに参加してから、もう6年目が経ちました。その間、韓国の生活体育城北区蹴球聯合会から沖縄へ3回、沖縄シニアサッカー連盟からソウルへ2回の訪問がありました。

両国の交流の切っ掛けは、2002年の韓日ワールドカップの成功を祈願するとともに日韓のサッカー文化交流を促進するためであったと聞いています。そして、第1回目の交流は、なんと1998年に生活体育城北区蹴球聯合会と沖縄県シニアサッカー連盟の両組織によって行われたとのことでした。

最初、この話を聞いた際には、驚きましたし、沖縄のオヤジ達もやるなと思いました。

今は、私も沖縄オヤジサッカーの一人となり、一緒にサッカーをしながら、皆さんと仲良くできることを本当に嬉しく思っています。

このように両国のサッカー交流に参加できる機会を与えてくれた沖縄シニアサッカー連盟及び生活体育城北区蹴球聯合会に感謝致します。

これからもサッカーを通じて友好の輪を広げると共に両国の交流に少しでも貢献できるよう協力して参りたいと思っています。オヤジサッカーの皆さん、元気で頑張りましょう。



村田 肇

沖縄県シニアサッカー連盟会長のサッカー活動の歩み

協力者・個人・団体

- 昭和 44年 国際大学サッカー部設立…………… (森山 朝順)
- 〳 45年 国際大学サッカー部奨学資金制度設立… (吉田勉前原高校)
- 〳 45年 琉大、沖大、国大三大学リーグ設立 (春・秋) (横田等(琉大) 具志堅朗(沖大))
- 〳 46年 沖縄O T Vリーグ設立…………… (吉本健二)
- 〳 46年 沖縄国際大学サッカー部設立…………… (島袋啓順)
- 〳 46年 那覇サッカークラブ設立…………… (上地義昭)
- 〳 47年 沖縄国際大学奨学金制度設立…………… (久保田武光)
- 〳 55年 名護サッカークラブ設立…………… (仲本邦夫、大城和広)
- 〳 55年 名護市長杯サッカー大会設立…………… (古我地保)
- 〳 56年 九州社会人大会誘致…………… (名護市・古堅幹也選手)
- 〳 60年 海邦国体北中城高校会場責任者…………… (村田肇)
- 〳 62年 今帰仁サッカークラブ設立…………… (島袋均)
- 〳 62年 国頭郡サッカークラブ設立…………… (松田義彦)
- 〳 63年 沖縄壮年サッカーチーム設立参加…………… (高江洲義夫元沖縄県サッカー協会理事長)
- 平成 元年 本部町サッカークラブ設立…………… (松茂良義武)
- 〳 元年 全日本サッカー代表合宿誘致…………… (今帰仁村・オフト監督)
- 〳 2年 九州高校新人大会誘致…………… (今帰仁村)
- 〳 3年 フタオチョウサッカークラブ設立…………… (喜納政樹)
- 〳 4年 Jリーグ合宿誘致…………… (フリーゲルス、京都サンガF.C.、ヴィッセル神戸、柏レイソル、ベガルタ仙台、横浜F・マリノス、)
- 〳 〳 (今帰仁村)
- 〳 7年 コンサドレ札幌、名古屋グランパス、清水エスパルス)
- 〳 8年 沖縄県シニアサッカー連盟設立…………… (真栄城勉)
- 〳 12年 沖縄サミットEU外交官・記者クラブとのサッカー交流会… (今帰仁村)
- 〳 21年 嘉数知賢杯サッカー大会…………… (O-50シニアリーグ・嘉数知賢)



平成21年1月22日(金)、パシフィックホテル沖縄で平成21年スポーツ功労賞を仲井眞弘多沖縄県体育協会会長(沖縄県知事)から授与される村田肇沖縄県シニアサッカー連盟会長



永年にわたり協会役員としてサッカー競技の普及発展に尽力した功績により表彰。

夢は、サッカー場を10面建設することです!! (村田 肇)

第14回沖縄県シニアサッカー連盟表彰式 村田肇会長沖縄県体育協会表彰祝賀会



表彰式並びに祝賀会に沖縄県サッカー連盟15チームの笑顔笑顔のメンバーが集合し、2010年度の沖縄県シニアサッカーリーグ戦への決意を新たにした。

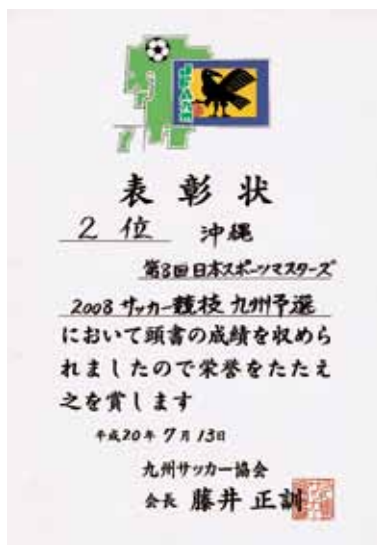
2010年2月6日(土) 那覇市内の輪輪で表彰式と祝賀会を開催。前原壮年クラブ(山田義浩監督)がみごと優勝。最優秀選手に前原壮年クラブの翁長喬選手が選出され、村田肇会長から表彰状が授与された。

1月22日(金) パシフィックホテル沖縄で平成21年沖縄県体育協会活動表彰式が開催され、村田肇会長が沖縄県シニアサッカー連盟から初受賞者として仲井真弘多会長(沖縄県知事)から表彰されました。

浦添市車イスサッカー大会への永年の協力に対し、浦添市ボランティア連盟協議会から感謝状が贈呈されました。



感謝状



表彰状

40代全国サッカー大会九州予選
沖縄代表(津波古昌勝監督)が準優勝!!

車いすサッカー大会	20,000	うないFC	30,000
琉球大学サッカー部	20,000	うないFC運営費	20,000
名護中U-14	20,000	車いすサッカー協会	20,000
ヴィクサーレー沖縄	20,000	名護中	20,000
赤間サッカー場得点版	90,000	石川Jrフットサル	20,000
ヴィクサーレーと根G整備助成	50,000	城北中	20,000
琉球大学サッカー部九リーグ広告	20,000	ヴィクサーレーと根Gテント一式	95,000
女子交流大会 上村学園	20,000	中学校九州大会 広告	20,000
タモカップ助成	20,000	南風原高校選手権	20,000
フルティータFC	20,000	女子フットサル ラブロック	10,000
合 計		575,000	

シニアサッカー連盟からチーム・団体へ寄付、寄贈

編集後記



沖縄県シニアサッカー連盟
会長 村田 肇



カシムリ
鷲

近年県内各市町村でサッカー場建設並びにスタジアムの建設構想が新聞やテレビ、ラジオ等で報道されるようになりました。糸満市、那覇市、中城村、沖縄市などが活発に動き出していることは本当に嬉しい限りです。

沖縄県シニアサッカー連盟では沖縄県サッカー協会の協力を得ながら平成十四年当時の稲嶺恵一沖縄県知事にサッカー場建設調査についての依頼文書を県協会とシニア連盟で提出しております。県協会は平成十六年にサッカー場建設に向け「サッカー場建設推進実行委員会」を立ち上げた。平成十六年一月十七日「大会宣言」を行い採決しました。

今日ではサッカー仲間がいろんな意見をどんどん言えるようになった雰囲気感激している日々であります。

編集委員 村田 肇
編集員 吉田 清尊